

大新书局授权

たのしい 日语作文教室

文法総まとめ

进阶篇

吉田 妙子 编著

作文は上達する!

日本も台湾も「学歴社会」と言われるが、日本と台湾では少し意味が違うようだ。中国は科擧の制の伝統により、政府高官に登用されることが最高の出世だった。それで人々は大学に行き、必死に試験勉強をした。学歴が高ければ高いほど出世もできたし、給料も多かった。それは今でも変わりはないようだ。

日本人も、出世を求めるのは同じだ。しかし、日本では身分別が厳しく、一生身分を変えることができなかった。それでは、大工の子は日本一立派な家を作ること、農民の子は日本一まい米を求めるのだった。分野での最高位置に上ることが自慢で、一生身が分たから、日本人にとっては官僚に、大工の子は、或いはの道ではなく、民間企業で成功する日本一まいはスポーツ・芸術方面で名をあげに上ることが、または、スポーツ・芸術方面では、民間企業で成功するのは、スポーツ・芸術方面では、民間企業で成功するのは、まず、スポーツ・芸術方面では、民間企業で成功するのは、題にされない。本人の実力次第で、方面で名を上げ、学歴の高い人など聞いたことが、スポーツ・芸術方面、則として20才までの相撲の世界、スポーツ・芸術方面に無用の長物だ。

高級官僚の世界でこそ、学歴が問題になる。しかし、日本の場合、高級官僚の世界には「学閥」がある。学閥の長は東大である。東大を出ていない者は出世がしにくい。

官僚世界に倣って、民間企業にも「学閥」がある。

たのしい 日語作文教室

文法総まとめ

进阶篇

吉田妙子 編

作文は上達する！

日本も台湾も「学歴社会」と言われるが、日本と台湾では少し意味が違うようだ。中国は科擧の制の伝統により、政府高官に登用されることが最高の出世だった。それでは今でも変わりはなく、給料も多かった。学歴が高ければ高いほど出世もできたし、給料も多かった。日本人も、出世を求めているのは同じだ。しかし、日本では身分差別がなくなり、身分を変えることができた。分野での最高、高いほど出世もできたし、給料も高くなった。だから、日本に登用されることが最高の出世、或いは道ではなく、大学に行き、必死に試験勉強を、実にはスポーツは大学に行き、必死に試験勉強を、実には様なのだ。高いほど出世もできたし、給料も高くなった。でも変わりはなく、給料も高くなった。まず、世を求めているのは同じだ。しかし、な問題にされ、身分を変えることができた。学歴はまっ則として20才までの相撲の世界などでは、学歴はまっに無用の長物だ。高級官僚の世界でこそ、学歴が問題になる。しかし、日本の場合、高級官僚の世界には「学閥」がある。学閥の長は東大である。東大を出ていない者は出世がしにくい。官僚世界に倣って、民間企業にも「学閥」がある。

本著作物由大新书局授权出版

天津市版权局著作权合同登记号：图字 02-2009-39

图书在版编目 (CIP) 数据

日语作文教室. 进阶篇 / (日) 吉田妙子编. --
天津：南开大学出版社，2011.3
ISBN 978-7-310-03344-7

I. ①日… II. ①吉… III. ①日语—写作—自学参考
资料 IV. ①H365

中国版本图书馆CIP数据核字 (2010) 第009453号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社、天津电子出版社出版发行

出版人：肖占鹏
于志坚

地址：天津市南开区卫津路94号 邮政编码：300071

天津市南开区长实道19号 邮政编码：300191

营销部电话：(022) 23678808 营销部传真：(022) 23678809

*

珠海市壹朗印刷有限公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2011年 3月 第1版 2011年 3月 第1次印刷

889×1194 毫米 16开本 9.75印张 146千字

定价：33.00元

如遇图书印装质量问题，请与本社营销部联系调换，电话：(022) 23678808

改版之际

距本书的第一版发行已经有六年了。书刚一出版，我就发现其中有很多不尽如人意的地方，时刻担心这些地方会被读者指出来。此次蒙大新书局的厚意得以改版，在此我谨向各位读者和大新书局表示衷心感谢，同时也向为本书做索引的政治大学日语系研究生院的两位同学表示感谢。

1. 本书的结构及使用方法

对于日语写作而言，语法的学习是不可缺少的。但是很多学生即使充分掌握了语法知识，并在考试中取得了较好的成绩，也无法在实际中轻松地运用文字来恰当地表达自己的想法。本书旨在教授学生语法知识的同时，指导学生运用这些知识写出有一定难度和深度的日语作文。

本书的第一部分“作文を書き始める前に”指导学生学习与写作有关的日语基础知识，第二部分“ちょっと硬いテーマに挑戦してみよう”是让学生围绕所给的主题展开论述，并阐述自己的观点及评价的作文题目。这一部分主要学习如何应用在本系列的《日语作文教室 入门篇》中学到的知识来展开文章的内容（也就是所谓的自由谈话式学习）。学生在讨论的过程中有可能会遇到不常见的用语及措辞，此时不妨围绕着某一具体的主题边讨论边写作。

此外，本书将文章的阐述类型分为8类进行论述的，学生可以将这8种类型无限应用到其他主题。例如，第5章节“身近な出来事を批判する”可以变换为“自然破壊”、“教育問題”等，赋予主题以多样性。另外，学生还可以利用各章节最后给出的“応用課題”来尝试自己练习写作。本书的作文题目基本上是按从易到难、由具体到抽象的顺序排列的，但并不是说一定要学习所有的章节，也并非是一定要按本书的顺序来学，学生可根据自身情况灵活运用本书。

“自分の言葉で個性豊かに”这一部分收集的是学生实际所写的作文，也都是经过学生们自己修改或是完全未经修改的作文。

2. 关于语法用语

本书中使用了以下术语。

①关于语体

普通体：日语语法中所说的“简体”

丁寧体：日语语法中所说的“敬体”

②关于动词的活用

Ⅰ类动词：日语语法中所说的“五段动词”。

Ⅱ类动词：日语语法中所说的“上一段动词”、“下一段动词”。

特殊动词：来る、する

ナイ形：例如“行カナイ”中“行カ”的部分。

マス形：例如“行キマス”中“行キ”的部分。

ル形：动词的基本形。“行ク”、“見ル”等。

バ形：例如“行ケバ”中“行ケ”的部分。

ウ形：例如“行コウ”的形式。

テ形：例如“行ッテ”的形式。

タ形：例如“行ッタ”的形式。

命令形：例如“行ケ”、“見ロ”、“シロ”、“来イ”的形式。

③关于形容词

イ形容詞：“寒イ”、“暑イ”等在日语语法中被称为“形容詞”的词。

ナ形容詞：“キレイ”、“好キ”等在日语语法中被称为“形容動詞”的词。

活用語：使动词、“イ形容词”、“ナ形容词”及名词谓语化的“ダ”。

ナ形容詞・名詞語幹：去掉具有活用化作用的ダ以后的部分。“キレイ”、“好キ”等。

テンス・アスペクト：包含简体及敬体、肯定形式及否定形式在内。

現在形：例如“行ク”、“行キマス”、“行カナイ”、“行キマセン”。

過去形：例如“行ッタ”、“行キマシタ”、“行カナ
カッタ”、“行キマセンデシタ”。

テイル形：例如“行ッテイル”。

テイタ形：例如“行ッテイタ”。

名詞節：有谓语的修饰部分+被修饰名词

例“私ガキノウ買ッタ本”

副詞節：有谓语的修饰部分+接续助词

例“私ガキノウ本ヲ買ッタノデ”

複合助詞：几个词（通常为助词+动词テ形或连用中止形）

结合后具有助词作用的词语。例如“ニトッ
テ”、“ニツイテ”等。

另外，本书的句型使用的是片假名，例文中有的例句用平假名，例文中没有的例句用的是片假名。

3. 对于学生写作的建议

首先，学生要多查字典。即使是一个熟悉的单词，也要认真地查阅。例如一个动词，要了解它连接什么助词，如何活用，具体如何使用；再比如一个汉语词，要了解它的词性，与日语在意思上有哪些细微的差别等。

其次，要在作文中的汉字上标出假名。对于学生而言，汉字本身应该完全没有问题，问题在于读音。学生要在平时练习正确的发音，才能够将想要表达的内容准确地说出来。

另外，学生都会有一个对词汇感兴趣的阶段，有些学生会不断在作文中使用刚刚记住的单词，但又经常出错。事实上，作文注重的往往就是词汇的丰富性，所以对于勇于使用新词汇不断写文章的挑战精神应该予以高度评价。

总之，学生不要因为过于害怕错误，而不敢动笔写作。

目 次

作文を書き始める前に ——日本語作文の予備知識——	1
げんこうよう し つか かた 原稿用紙の使い方	2
ぶんたい 文体について	6
か はな 書きことばと話しことば	12
に ほん かん じ ちゅうごく かん じ 日本の漢字と中国の漢字	18
ちょっと堅いテーマに挑戦してみよう	21
テーマ1 話を効果的に展開する—四コマ漫画より—	22
テーマ2 物語を語る	34
テーマ3 内容を要約する	52
テーマ4 私の好きな映画	64
テーマ5 身近な出来事を批判する	76
テーマ6 資料を分析して意見を述べる	84
テーマ7 ～は是か非か	96
テーマ8 留学生の手紙	110
自分の言葉で個性豊かに ——学生の作文から——	131
練習解答	143
索引	148

さくぶん が はじ まえ 作文を書き始める前に

にほんご さくぶん よび ちしき —日本語作文の予備知識—

开始写作之前 —日语作文的预备知识—

- 1 げんこうようし つか かた
原稿用紙の使い方 2
(稿纸的使用方法)
- 2 ぶんたい
文体について 6
(关于语体)
- 3 か はな
書きことばと話しことば 12
(书面语和口语)
- 4 にほん かんじ ちゅうごく かんじ
日本の漢字と中国の漢字 18
(日本的汉字和中国的汉字)

原稿用紙の使い方 稿紙的使用方法

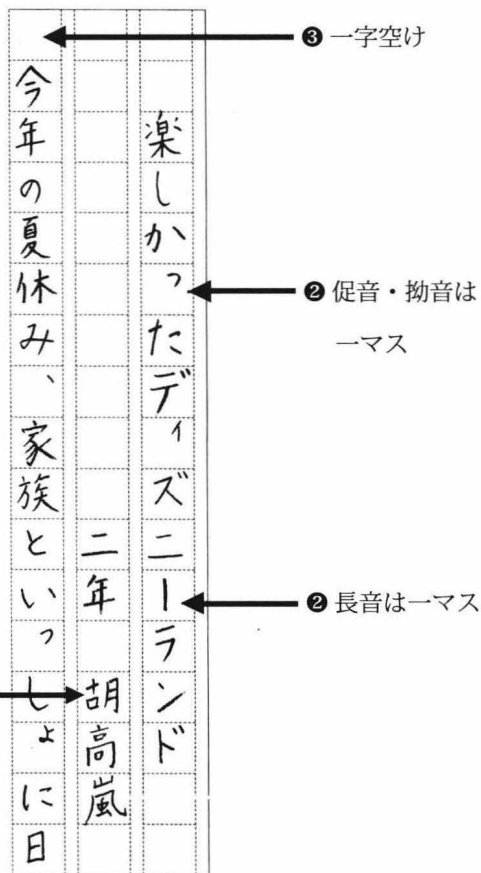
- ① タイトルは一行目、名前は二行目に書く。タイトルは上を二～四字分空け、名前は下を一、二字分空けるとよい。タイトルや名前を欄外に書いてはいけない。

(题目写在第一行，姓名写在第二行。题目开头空2～4个格，名字后面空1～2个格。标题和名字不能写在栏外。)

- ② 漢字・ひらがな・カタカナとも一字一マス。ひらがな・カタカナの促音・長音も一マス使う。拗音(「きゃ」「きゅ」「きょ」等)は、二文字と見なして二マス使う。

(汉字、平假名、片假名都是一字一格。平假名、片假名的促音、长音也各占一格。拗音(“きゃ”、“きゅ”、“きょ”等)视为两个字，各占两格。)

- ③ 段落の最初は一字空ける。(二字空けではないので注意。)
(每段开头空一格(请注意不是空两格)。)



- ④ 句読点は一マス使う。句点も読点も、マスの真ん中に書いてはいけない。縦書きの場合は右上、横書きの場合は左下に打つのがよい。

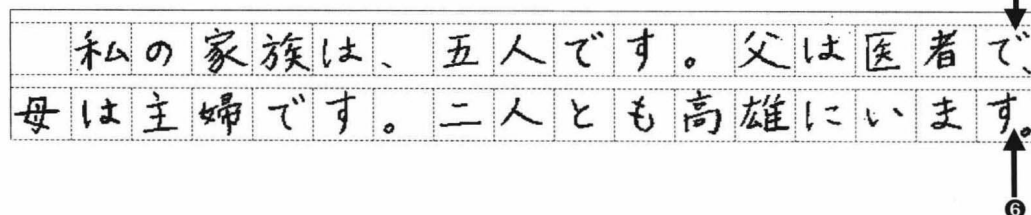
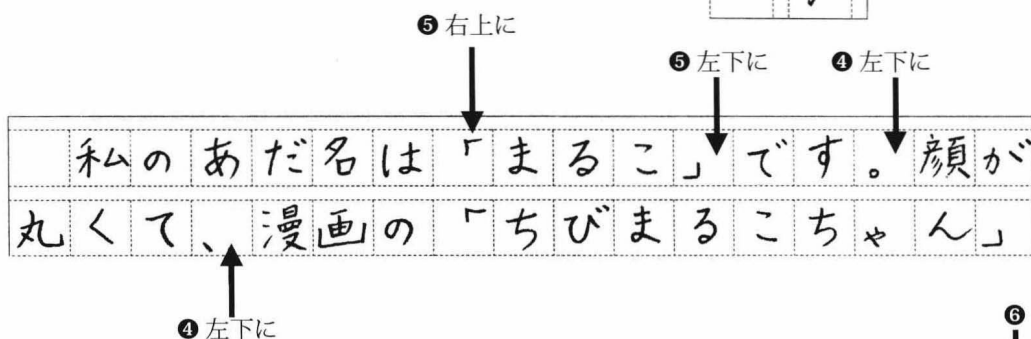
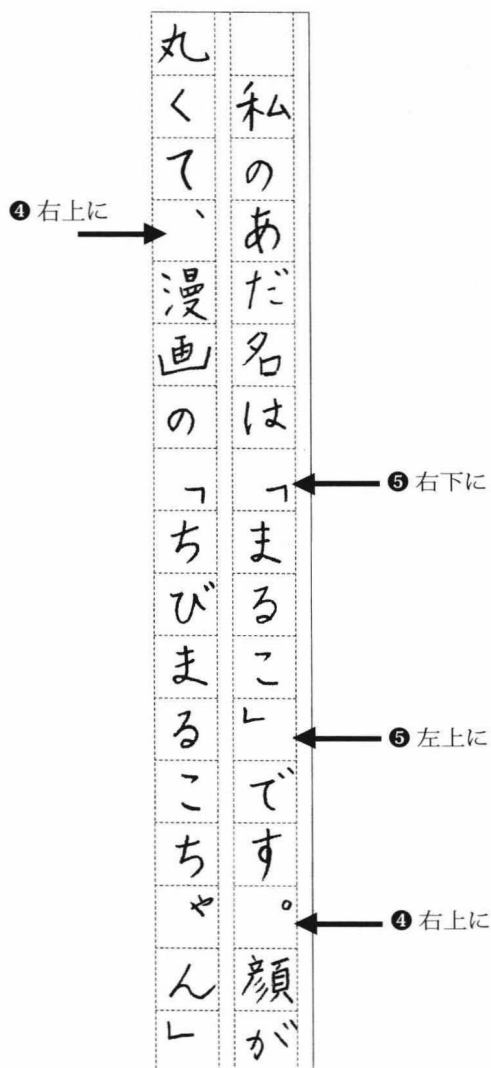
(标点占一格。逗号和句号都不可以写在格的正中间。纵向书写的时候要写在右上，横向书写的时候要写在左下。)

- ⑤ 「」『』() などの括弧も一マス使う。それぞれ、次のように書く。

(“「”、“『”、“(” 等各种括弧也占一格。分别书写如下。)

- ⑥ 句読点、最上段のマスの書いてはいけない。行の最後の文字といっしょに書く。

(标点不要写在每行的开头。和该行的最后一个字写在一起。)



- ⑦ 始めの括弧「は、行の最後を書いてはいけない。「の次の文字といっしょに行の最後を書く。

(括弧的前一半“「”不可以写在行的最后。要和紧接着它的文字一起写在行末。)

- ⑧ 終わりの括弧^{かっこ}」は、行の始めに書いてはいけない。行の最後の文字といっしょに書く。

(括弧的后一半“)”不可以写在行的开头。要和该行最后一个文字写在一起。)

朝人に会うと「おはようございます。
と言います。また、夜人に会った時「こ
んばんは。」と言います。

- ⑨ 会話文^{かいわぶん}は独立^{どくりつ}させる。会話文の始まりは一字空けなくてもよい。

(会话部分要使之独立。会话部分的开头可以不空格。)

きのう、先生は教室に入ってくると、
「これから試験をします。」
とおっしゃいました。

- ⑩ 数字は、縦書きの場合は漢数字を用い、アラビア数字を用いてはいけない。横書きの場合は漢数字、アラビア数字のどちらでもよいが、アラビア数字は一マスに一字または二字書く。

(在纵向书写时要使用中文数字，不可以使用阿拉伯数字。横向书写的时候既可以使用中文数字，也可以使用阿拉伯数字。使用阿拉伯数字时，每格写1~2个数字。)

一九九八年八月二十四日 千五百円 25000人

れんしゅう
練習—练习

次の文にタイトルをつけ、四百字詰め^{げんこうようし}の原稿用紙に書いてみましょう。漢字にルビも振^ふってください。

(为下面的文章加上题目，并写到每页400字的稿纸中，汉字要标上读音。)

きのう、スーパーマーケットに行きました。トマトとビールとパンと紙を買って、全部で1200円でした。細かいお金がなかったので、10000円札を出しました。店員は、「おつりがありません。」と言いました。私はたいへん困りました。「どうしたらいいだろう。」と思いました。その時、近くにいた人が、「こんにちは。お買い物ですか。」と私に声をかけました。それは大家さんの奥さんでした。奥さんに1200円貸してもらって、私は助かりました。大家さんの奥さんとはあまり話したことがありませんが、いい人だと思いました。私は、「ありがとうございます。あした必ず返します。」と言って別れました。

文体について 关于语体

1. 文体（文の文末形式）には、丁寧体と普通体がある。日本語で文章を書く時には、必ずどちらかの文体に統一すべきであり、一つの文章の中では、決して丁寧体と普通体を混合して使ってはならない。

（语体（句子的末尾的形式）要使用礼貌体或是普通体。用日语写作时，必须统一使用其中某一种语体。在一篇文章中，绝对不可以出现两种语体混用的情况。）

2. 丁寧体と普通体 （礼貌体和普通体）

動詞文

（动词句）

	現在肯定形	現在否定形	過去肯定形	過去否定形
丁寧体	行きます	行きません	行きました	行きませんでした
普通体	行く	行かない	行った	行かなかった

動詞文に特有の文型

（动词句特有的句型）

		意向形	依頼の文型	命令の文型
丁寧体	I 類	行きましょう	行ってください	行きなさい
	II 類	見ましょう	見てください	見なさい
	特別	しましう	してください	しなさい
		きましう	きてください	きなさい
普通体	I 類	行こう	行ってくれ	行け
	II 類	見よう	見ってくれ	見ろ（文語は「見よ」）
	特別	しう	してくれ	しろ（文語は「せよ」）
		こよう	きてくれ	こい（文語は「こよ」）

けいようしぶん
イ形容詞文

(イ形容詞句)

	現在肯定形	現在否定形	過去肯定形	過去否定形
丁寧体	寒いです	寒くありません (寒くないです)	寒かったです	寒くありませんでした (寒くありませんでした)
普通体	寒い	寒くない	寒かった	寒くなかった

めいしぶん
ナ形容詞文・名詞文

(ナ形容詞句、名詞句)

	現在肯定形	現在否定形	過去肯定形	過去否定形
丁寧体	①静か ②学生}です	①静か ②学生}で(は) ありません	①静か ②学生}でした	①静か ②学生}で(は) ありませんでした
		①静か ②学生}では ないです		①静か ②学生}では なかったです
普通体	①静か ②学生}だ	①静か ②学生}で(は)ない	①静か ②学生}だった	①静か ②学生}で(は)なかった

た
その他

(其他)

	推量の文型
丁寧体	動詞文・イ形容詞文・ナ形容詞文・名詞文 普通体+でしょう
普通体	動詞文・イ形容詞文・ナ形容詞文・名詞文 普通体+だろう (但し、ナ形容詞文・名詞文現在形は語幹+ {でしょう だろう})

注 (1) イ形容詞文・ナ形容詞文・名詞文の（ ）内の語法は、^{ごほう}口語的である。

(イ形容詞句、ナ形容詞句、名詞句的()中的语法为口语形式。)

(2) ナ形容詞文・名詞文の否定形^{ひていけい}における(は)は、^{かなら}必ずしも用いられるとは限らない。

(ナ形容詞句、名詞句的否定式中的“は”可用可不用。)

(3) 口語ではナ形容詞文・名詞文の否定形「静か^{せいしきかん}じゃない」「学生^{こうせい}じゃありませんでした」のような口語縮約形は正式感を欠くので、作文では用いない方がよい。

(像ナ形容詞句、名詞句的口语的否定形式“静か^{せいしきかん}じゃない”、“学生^{こうせい}じゃありませんでした”这样的口语缩略型，由于缺乏正式感，在作文时最好不要使用。)

3. 接続助詞を伴う副詞節内の文体

(伴随着接续助词的副词句节中的语体)

逆接の接続助詞^{ぎやくせつ}ガを含む文では、主節の文体が丁寧体^{ていねいたい}の時はガの前の副詞節も丁寧体、全体が普通体^{ふつうたい}の時はガの前も普通体にする。

(在含有表转折的接续助词“ガ”的句子中，主节的语体为礼貌体的话，“ガ”前面的副词节也为礼貌体；如果主节为普通体的话，“ガ”前面也用普通体。)

例 「父は六十才^{ふく}ですが、元気^{げんき}です。」

「父は六十才^{ふく}だが、元気^{げんき}だ。」

× 「父は六十才^{ふく}ですが、元気^{げんき}だ。」

× 「父は六十才^{ふく}だが、元気^{げんき}です。」

その他の接続助詞、ケド、シ、カラ、などは、主節^{しゅせつ}の文体の如何^{いかん}に関わらず普通体^{ふつうたい}を用いる。主節の文体が丁寧体^{ていねいたい}の時に丁寧体^{ていねいたい}を用いることも可能^{かのう}だが、その場合はやや口語^{こうごてき}的になる。

(其他的接续助词“ケド、シ、カラ”等，无论主节的语体为何，接续助词前的副词节一律使用普通体。虽然当主节的语体为礼貌体时，副词节也可以使用礼貌体，但那会给人一种口语的感觉。)

例 「父は六十才^{ふく}だけど、元気^{げんき}です。」

「父は六十才^{ふく}だけど、元気^{げんき}だ。」

(「父は六十才^{ふく}ですけど、元気^{げんき}です。」は口語的。)

(“父は六十才^{ふく}ですけど、元気^{げんき}です”为口语。)

「母は親切だし、美人です。」

「母は親切だし、美人だ。」

(「母は親切ですし、美人です。」は口語的。)

(“母は親切ですし、美人です。”为口語。)

「試験があるから、勉強します。」

「試験があるから、勉強する。」

(「試験がありますから、勉強します。」は口語的。)

(“試験がありますから、勉強します。”为口語。)

4. 丁寧体を使う文章と普通体を使う文章

(使用礼貌体的文章和使用普通体的文章)

基本的に、書きことばにおいては特定の読者とコミュニケーションをしたい場合にのみ、丁寧体を用いる。作文では、基本的にはどちらを選んでもよいが、堅い内容の文(意見文、論説文など)では普通体が多く用いられる。しかし、レポート、論文を書く時は必ず普通体で書く。

(在书面语的使用上，一般只有希望和特定的读者沟通的时候才会使用礼貌体。基本上二者都可以应用于写作中，说理性较强的文章(如阐述意见的文章、议论文等)中多使用普通体。但在书写报告、论文的时候，一定要使用普通体。)

練習—练习

1. 次の文章では、丁寧体、普通体のどちらが使われているでしょうか。

(下列文章中，应该使用礼貌体还是普通体?)

小説 童話 随筆 新聞の報道記事 憲法の条文 公文書 広告文
新聞の投書 商品の説明書 日記 手紙 メモ 遺書

2. 次の文章は、丁寧体と普通体が混じっています。文体を、①丁寧体、②普通体、に統一してください。

(下面的文章中，既有礼貌体，又有普通体。请将语体统一为①礼貌体、②普通体。)

日本人の一人あたりの飲酒量^{いんしゅりょう}は、中国人の六倍になると言います。日本と中国では、お酒^{さけ}についての観念^{かんねん}が全然^{ちが}違うようだ。まず、日本と違って、中国には「飲み屋^{の や ひじょう}」が非常に少ないです。日本では、一つの通り^{とお}に必ず一軒^{けん}は「飲み屋」があります。日本では、夜の電車の中は酔っ払い^{よ ばら}でいっぱいだ。道路^{どうろ}や駅で寝ているサラリーマンもいる。しかし、中国では路上^{ろじょう}や車中^{しゃちゅう}で酔っ払い^{よ ばら}を見かけることはほとんどありません。宴会^{えんかい}などでは、日本ではお酒^{さけ}を拒否^{きよひ}することは難しいですが、中国人は「私はお酒は飲めません」とはっきり言う。中国では「食^{しょく}の文化^{ぶん か}」が発展^{はってん}していて、お酒は食事^{ふ ぞくひん}の付属品^{ふぞくひん}と考えられているようだが、日本には食事^{しょく}から独立^{どくりつ}した「酒^{さけ}の文化」があるからでしょう。